

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

果樹カメムシ類の果樹園への飛来時期について

本年の第一世代成虫（新成虫）の発生量は前年よりやや少と考えられますが、飛来が早い地域では、8月15日頃から飛来すると予想されます。
については、園を見回り、早期発見と適期防除を行うよう指導願います。

技術情報

- 1 作物名 果樹全般（カキ、カンキツ、ナシ等）
- 2 病虫害名 果樹カメムシ類（チャバネアカカメムシ、ツヤアカカメムシ、クサギカメムシ）
- 3 果樹園の飛来時期
県平均 : 8月30日頃
県南地域（筑後支所管内） : 8月24日頃
一部の早い地域 : 8月15日頃
- 4 発生量 前年よりやや少、前々年より多
- 5 ヒノキ球果及びピーティングの調査結果
 - (1) カメムシの成虫はヒノキ1球果当たりの平均口針鞘数が25本を超えると、ヒノキから離脱するとされている。
県下25か所における7月5半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査では、1果当たり2.9本で、飛来時期予測式による果樹園の主要飛来時期は、8月30日頃と予想される。
県南地域は平均5.5本で8月24日頃、8本を超えている地域では8月15日頃から飛来すると予想される（表）。
 - (2) ヒノキ球果上の75%を占めるチャバネアカカメムシの主要齢期は2～3齢で、約3週間後の8月15日頃に成虫になると予想される（表）。
 - (3) 県下25か所における、7月5半旬のピーティング調査の結果、1地点当たりのチャバネアカカメムシは10.0頭（前年7.4頭、前々年2.2頭）、ツヤアカカメムシは3.1頭（前年5.6頭、前々年0.1頭）、クサギカメムシは0.2頭（前年0.5頭、前々年0.1頭）と前年並で、前々年より多い（表）。
しかし、カメムシ類の餌となるヒノキ球果量はやや少のため、全体の発生量はやや少ないと予想される。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) 飛来時期や飛来量は地域によって差があるので、こまめに園を見回り、飛来が認められたら防除を行う。
 - (2) カメムシ類は広範囲に移動するため、広域一斉防除の効果が高い。
 - (3) 果樹カメムシ類の発生状況については、病虫害防除所ホームページを参照のこと。
 - (4) 農薬散布に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

表 ヒノキ球果の口針鞘数及びヒノキのピーティング調査によるカメムシ類の虫数

調査時期：7月5半旬

調査場所	口針鞘数調査		ピーティング調査(頭)														3種の合計	
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								ツヤアオカメムシ			クサギカメムシ				
	被害球果率(%)	口針鞘数(本)	成虫数	幼虫数					計	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計			
				1令	2令	3令	4令	5令										
本所管内	宗像市山田	100	3.9	1	1	1	3	0	0	5	6	1	1	2	0	0	0	8
	前原町高祖	70	1.9	12	0	3	0	1	0	4	16	0	1	1	0	0	0	17
	古賀市青柳	100	8.8	3	0	0	1	0	0	1	4	0	6	6	0	0	0	10
	久留米市田主丸町益生田	20	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	3
	久留米市田主丸町森部	80	2.5	0	1	5	5	0	0	11	11	0	8	8	0	0	0	19
	うきは市浮羽町小塩	75	1.8	3	1	0	0	0	0	1	4	0	1	1	1	0	1	6
	朝倉市柿原	90	2.0	3	8	1	3	1	0	13	16	0	3	3	1	0	1	20
	朝倉市屋形原	35	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
	朝倉市宮野	25	0.3	8	1	3	3	0	0	7	15	6	1	7	1	0	1	23
	朝倉市須川	55	0.7	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	平均(10か所)	65.0	2.3	3.1	1	1.3	1.5	0.2	0.0	4.2	7.3	0.8	2.4	3.2	0.3	0	0.3	10.8
筑後支所管内	大牟田市上内	100	8.0	8	0	3	16	0	3	22	30	0	0	0	0	0	0	30
	八女市宅間田	75	3.1	0	3	6	1	0	4	14	14	0	0	0	0	0	0	14
	みやま市山川町立山	100	8.5	8	0	1	1	3	1	6	14	4	3	7	0	0	0	21
	立花町白木	90	5.4	0	0	1	0	3	6	10	10	4	6	10	0	0	0	20
	立花町飛形山	100	7.1	16	0	16	12	12	28	68	84	0	0	0	0	3	3	87
	黒木町野田山	5	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3
	黒木町今	90	2.7	0	0	3	1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
	黒木町本分	90	6.1	3	1	4	3	0	0	8	11	0	16	16	0	0	0	27
	広川町梯	100	8.9	0	0	0	1	1	0	2	2	6	1	7	0	0	0	9
	平均(9か所)	83.3	5.5	3.9	0.4	3.8	3.9	2.1	4.7	14.9	18.8	1.6	3.2	4.8	0	0.3	0.3	23.9
行橋支所管内	岡垣町上畑	30	0.3	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	岡垣町戸切	15	0.2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2
	みやこ町犀川町木山	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	上毛町唐原	25	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	築上町寒田	15	0.3	4	0	0	0	0	0	0	4	1	1	2	0	0	0	6
	築上町本庄	15	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均(6か所)	16.7	0.2	1.3	0	0	0	0	0	0.0	1.3	0.2	0.3	0.5	0	0	0	1.8
平均(25か所)	60.0	2.9	3.0	0.6	1.9	2.0	0.8	1.7	7.0	10.0	0.9	2.2	3.1	0.1	0	0.2	13.3	
H20	41.1	2.1	2.5	0.5	0.8	1.8	1.2	0.7	4.9	7.4	1.1	4.5	5.6	0.4	0.1	0.5	13.5	
H19	27.2	0.7	1.4	0.5	0.4	0.6	0.5	0.2	2.2	3.6	0	0.1	0.1	0	0	0	3.7	
H18	49.5	2.6	9.5	1.6	1.8	1.9	2.3	1.5	9.1	18.6	2.0	3.2	5	1.0	0.2	1.1	25.0	
H17	16.9	0.8	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.7	1.0	0	0	0	0.1	0	0.1	1.1	
H16	79.0	5.1	2.3	0.8	0.9	0.7	0.3	0.1	2.8	5.1	0.3	0.9	1.1	0.1	0.1	0.2	6.4	
H15	7.4	0.1	0.9	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.7	1.6	0.3	0.5	0.7	0.1	0	0.1	2.4	

注1) 口針鞘数調査は1地点当たり20球果、口針鞘数は20球果の平均である。

注2) ピーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落として、その合計虫数である。

注3) チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の温度では約30~40日である。

<参考> チャバネアオカメムシの年次別概要 (県内平均)

年次	越冬量 (頭 / m ²)	発生型	ヒノキの 球果量	7月 5半旬 の口針鞘数 (本 / 球果)	予察灯におけ る第 1世代成 虫の増加時期
平成21年	1.3	-	やや少	2.9	-
平成20年	0.5	後期	やや多	2.1	8月 4半旬
平成19年	1.1	(前期)	極少	0.7	8月 4半旬
平成18年	1.8	後期	やや多	2.6	8月 2半旬
平成17年	0.1	後期	多	0.8	9月 3半旬
平成16年	4.7	前期	極少	5.1	7月 5半旬
平成15年	0.3	後期	やや多	0.1	8月 6半旬